



## 「産卵を辞めた、損得」

院長 西 田 敬

しばらく前の流行り言葉、「巨人大鵬卵焼」は御子様さんだいの三大好物さんだいの羅列だが、七・五調で、日本人ごの好みごののリズムにも為なっている処ところがミソ。三題漸さんだいと云えば寄席よせ、夫も玄人受けそれの筋立てくろうと。三木助すじだの芝濱しばはま、アリヤ傑作けっさくでしたなあ。一方、卵黄らんおうの喪失そうしつと授乳哺育ほいくの獲得かくとく、そして卵巣癌らんそうがんと三題さんだいが揃そろえば、今が旬がんよくせいの癌抑制遺伝子がんよくせい、BRCAらんおうが登場とうじょうする。哺乳類ほにゅうるい以外では胎子の栄養えいようは胎生期たいせいの卵黄らんおうに蓄たくわえられたvitellogeninゆだに委ゆだねられる。これは肝臓かんそうで生成せいせいされる卵黄蛋白らんおうたんぱくで、検出けんしゅつされれば卵生らんせいが確定かくてん。胎生哺乳類たいせいほにゅうるいでは読んで字の如く、これこれに胎盤循環たいばんじゆんかん栄養えいようが取とって代しろる。何しろ、母親ぼてんが摂取しゅつしよした栄養分えいようぶんを四一しよっぴん、九一くっぴんではないが、総そう取とりにできる利点りてんは大きい。しかし、血中けちちゆうに溶け込こむ有害酸素ゆうがいさんそ(oxidant)への暴露ばくろも免まぬかれぬ。実際じっさい、胎児たいじの器官形成期きかんけいせいは、用意周到よういしゆうとうにも、胎

盤循環らんじゆんかんが未完成みけいの裡うちに推移すいしする。この両者りやうしや、vitellogeninとoxidantが結合くわつごうした相互作用さうごうさくごう、如何いかなる相加さうか、或あるいは相乗効果さうじやうこうかを発揮はつぱいしながら遺残いざんしていく歟やは不明ふめい。慥たしかに人体発生学たいじんはつせいがくの綱渡りつなわたりの妙みやく、かもしれない。

卵生らんせい(oviparity)に於ける卵黄らんおうは孵化ふか(hatching)するまで嗣子ししの栄養源えいようげん。飼料しりようや肥料ひりようが要いらず手間てまや迷惑めいわくも掛かからない、便利べんりで完結かんけつした児こへの栄養供給えいようききゆうシステム。それを棄却ききやくして、経口けいこうの摂食栄養せつじきに切替きりかえたのには什麼利点なんな(merit)を見込みこんでの事歟こと? 俟まちて、暫ししばし。急いそいで事はことを仕しもんじめる、生物界せいぶつがいは广大こうだいで奥深おくふかい。人類じんるいに現れあらた些細せさいな事象じじやうを楯たてに、事の次第ことしだいを推し量おめるのは無謀むぼうと云うもの。せめて有袋類ゆうたいるい、胎生たいせいというより寧ろむし、哺乳生ほにゅうせいと呼ぶ方ふさわが相応ふさわしい、カンガルーざいたいの在胎生活ざいたいを少しでも、理解りかいし納得なつとした後のちでなければ、御前様方おまへんの生半なまはんかな脳ミソかでは此この問題もんだいの解明かいめいは不可能とうてい、到底無理とうていで御座ごす。敢あえて、暴論ぼうろんを承知じやうちでspeculate(推論)すれば、産卵さんらんを辞やめて授乳すなわを始めた、即ち、vitellogeninを見限とってcaseinとを採とった理由りゆうは何か。種の保存しゆのぼぜんからすれば、熱量的ねつりやうには等価交換とうかこうかんであったはづ筈はず。ん?! ラテン語らてんごでcaseusはチーズちーズではないか! Jane Plant教授きやくが危惧きぐんされるように、自前じぜんの乳製品にゅうせいひんでも什麼害悪なんなを齎もたらさんとも限りらん。…いや、いや正月しんげつの三さんが日も明けぬ裡うちは御屠蘇おとそざん三味まい、屠蘇とそ気分きぶんでの戯言ざれごと。許もとより机上きじやうの空論くうろん、いんや酒樽さかだるに胡坐座りあぐらの暴論ぼうろん。御目溢おめこぼしを!

